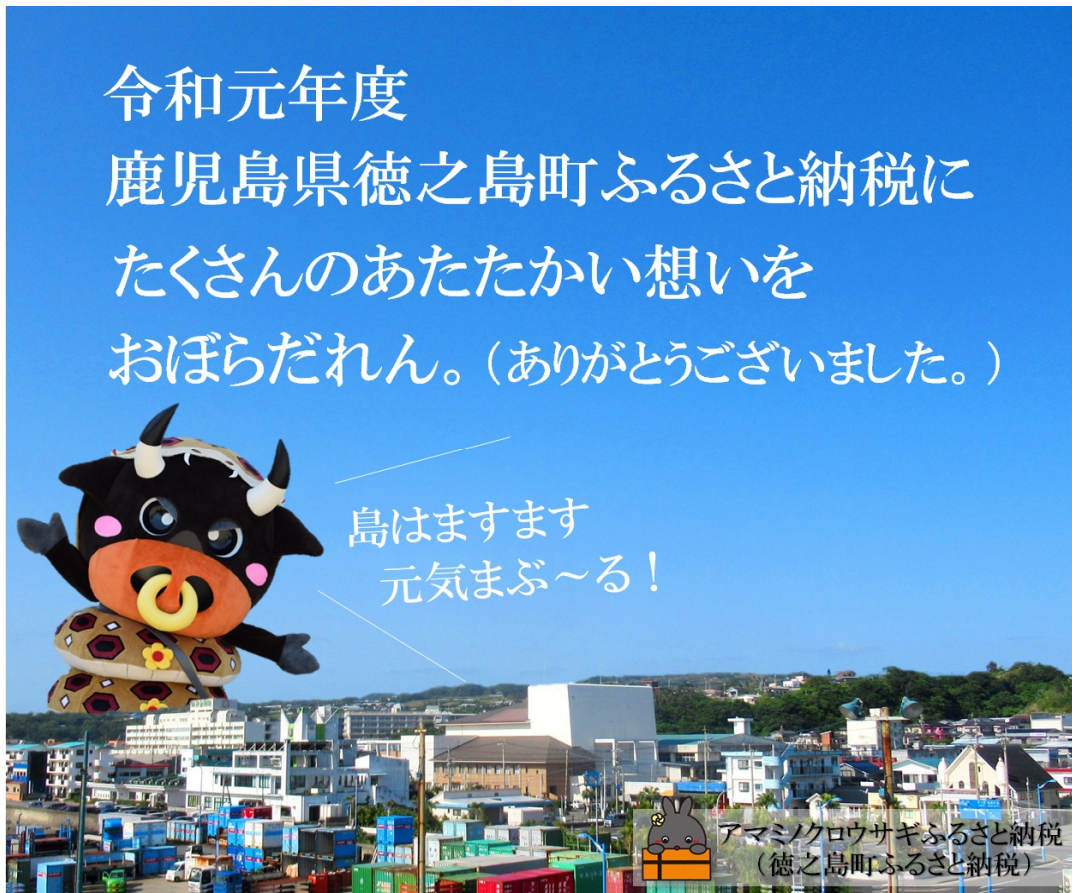


# 令和元年度 徳之島町ふるさと納税実績報告

たくさんのあたたかい“想い”をありがとうございました。



「ふるさとを応援したい」そんな気持ちを実現するために生まれたのが「ふるさと納税」制度です。徳之島町では、皆様の温かい思いやりをまちづくりに生かすため、平成20年度よりふるさと思いやり基金を設置し、ふるさと納税を募集させて頂いております。今後も、徳之島町はふるさと納税制度を最大限活用し、徳之島町の素晴らしさを全国にPRしながら、徳之島町の活性化に努めてまいります。

## 【令和元年度徳之島町ふるさと思いやり寄附金受付実績】

		寄附件数	寄附額
徳之島町ふるさと思いやり寄附金		31,293	652,890,278円
* 寄附金の使い道 選択区分内訳	① 特産品の研究開発に関する事業	5,117	104,190,000円
	② 高齢者および障がい者の健康増進・福祉の充実に関する事業	3,262	71,785,000円
	③ 徳之島の環境・保全等に関する事業	6,328	134,843,277円
	④ 伝統文化の保存・継承に関する事業	1,249	26,581,000円
	⑤ 教育・文化・スポーツの振興に関する事業	3,182	69,141,001円
	⑥ 観光及び定住促進に関する事業	2,099	47,922,000円
	⑦ その他町長がふるさとづくりに必要と認める事業	10,056	198,428,000円

## 【令和元年度末ふるさと思いやり基金額】

令和元年度末ふるさと思いやり基金額 (令和元年度ふるさと思いやり寄附金-推進事業費-基金活用事業費+平成30年度末基金残高)	603,534,685円
---	--------------

## 【令和元年度ふるさと思いやり基金活用事業】

GCFアマミノクロウサギとモダチプロジェクト

○事業費 1,166,570円(基金繰入1,166,000円)



### 農家さんとアマミノクロウサギの共生を目指しています！

徳之島町母間地区を中心に、たんかんの幼木がアマミノクロウサギにかじられる被害が発生し、農家さんが大変困っていました。

同じ島に暮らす者同士、農家さんもアマミノクロウサギも共存できる環境づくりの為、苗木の周りに柵を設置し、アマミノクロウサギがかじれないような対策を行いました。

また、あたたかい応援を頂いた皆様には、被害の出ているたんかん農家さんのたんかんを返礼品としてお贈りし、アマミノクロウサギを守ってほしい寄附者様からの声も農家さんへ伝えました。

GCF離島高校生の夢応援プロジェクト

○事業費 1,144,000円(基金繰入1,144,000円)

徳之島高校が抱える課題を解決するため、昨年のGCF「島ぬ宝ふるさと納税」を継続し、徳之島高校の生徒さんが集中して勉強に取り組めるタブレット教材等の自学自習室の整備に活用させて頂きました。

昨年から引き続き応援して下さる方も多く、返礼品は子ども達が育てた「じゃがいも」や「豚味噌」をお届けさせて頂きました。



みらいを探す旅へ！インターンシップ事業

○事業費1,375,690円(基金繰入1,130,000円)



島の子どものための“みらい”を探しに、関東の企業様にご協力頂き、インターンシップを行いました。

関東地区の民間企業者様等にご協力頂き、島の子ども達が実際に仕事を体験したり、働いている方に仕事について尋ねたりと、島ではなかなか出来ない経験を通じて、将来の職業選択の視野を広くしてもらう目的で行いました。

(使い道⑤)

各学校からプレゼン形式で学校の魅力を高める事業提案を行ってもらい、今年度は花徳小学校、母間小学校、手々小中学校の3校の提案を事業化しました。各学校ではタブレット教材での授業など、独自の事業により、学力の向上に努める取り組みを行いました。(使い道⑤)



ICT・IOT活用教育推進事業

○事業費2,200,714円(基金繰入2,200,000円)



ふるさと納税を活用させて頂き、町内の小中学校にタブレット等を導入致しました。亀徳小学校では新型コロナウイルスの影響により休校が続く中、タブレットを活用した新たな学習環境の取り組みを行いました。(使い道⑤)

サンゴ礁移植事業

○事業費 366,000円(基金繰入366,000円)

徳之島町北部の畦海岸では「ウンバチイソギンチャク」の大量発生により、サンゴ礁の白化現象が深刻化しています。今回ふるさと納税を活用し、母間海岸の元気なサンゴ礁を畦海岸に一部移植することにより、畦海岸のサンゴ礁の自然回復を目指した取り組みを行いました。(使い道③)



町史編纂事業

○事業費 7,443,119円(基金繰入2,999,000円)



ふるさと納税を活用させて頂き、町史編纂事業を行いました。町誌編纂事業は、昭和45年3月に『徳之島町誌』を刊行して以来、約50年ぶりの事業になり、この半世紀の間に考古学、文献史学上で新たな発見が相次ぎ、歴史上の多くの点で修正、加筆が必要になりました。町の重要な歴史や文化を後世にも伝えるために、町史編纂の研究等にふるさと納税を活用しました。(使い道④)

## 福祉車両導入事業

○事業費3,074,760円(基金繰入3,074,000円)

ふるさと納税を活用し、老朽化した福祉車両を新しく導入させて頂きました。各種検診用の送迎などに使用されている福祉車両ですが、車両が新しくなったことにより、高齢者の皆さんの乗り降りが楽になり、負担が軽減されました。(使い道②)



## 畦プリンスビーチステージ修繕事業

○事業費 966,276円(基金繰入966,000円)



老朽化した畦プリンスビーチ内のステージを改修いたしました。屋根の雨漏り修繕や危険箇所の修繕など、町民の皆様が安心して使用できるステージに生まれ変わりました。(使い道⑥)

## 井之川根性の碑建立事業

○事業費 2,999,500円(基金繰入2,999,000円)

徳之島町井之川地区に「井之川根性の碑」を建立し、併せて伝統芸能祭を開催させて頂きました。(使い道④)



## 寄附者様に感謝を伝える事業

○事業費787,515円(基金繰入787,000円)



本町の約50%の寄附者様が集中する関東地方のふるさと納税イベントに出展し、日頃から徳之島町を応援して下さっている寄附者様へ感謝の気持ちを直接伝えさせて頂きました。(使い道①)

## その他の事業

世界自然遺産登録人材育成事業 ○事業費1,804,992円(基金繰入1,804,000円)

- ・子ども達へ自然環境学習の実施や景観フォトコンテストの実施。(使い道③)

親子教室支援事業 ○事業費385,020円(基金繰入385,000円)

- ・親子教室などで使用する玩具を購入させて頂きました。(使い道②)

保育活動報告等事業 ○事業費105,386円(基金繰入105,000円)

- ・母間保育所に記録撮影用カメラとレコーダーを購入させて頂きました。(使い道②)

林道維持管理事業 ○事業費 1,454,200円(基金繰入1,454,000円)

- ・環境に配慮したウッドチップを導入させて頂きました。(使い道③)

畦プリンスビーチ案内板整備事業 ○事業費 977,000円(基金繰入977,000円)

- ・畦プリンスビーチに海の生物などの案内板を設置させて頂きました。(使い道⑥)

多言語解説案内板等整備事業 ○事業費1,855,600円(基金繰入618,000円)

- ・町内観光地への多言語解説案内板を設置致しました。(使い道⑥)

徳之島のテーゲ美味しい!「ポテトプレッツェル」事業 ○事業費 31,312円(基金繰入31,000円)

- ・徳之島高校との連携による新たな特産品開発事業(原材料費)。(使い道①)

幼児教育絵本整備事業 ○事業費 159,820円(基金繰入159,000円)

- ・公立幼稚園へ絵本・紙芝居を購入させて頂きました。(使い道⑤)

学校施設整備事業 ○事業費 1,361,360円(基金繰入1,361,000円)

- ・町内中学校へ学習机・椅子を購入させて頂きました。(使い道⑤)

エアアーチ購入事業 ○事業費 1,055,956円(基金繰入1,055,000円)

- ・イベント用エアアーチ2基を購入させて頂きました。(使い道⑤)

図書館図書購入事業 ○事業費 1,998,462円(基金繰入997,000円)

- ・町立図書館に図書を購入させて頂きました。(使い道⑤)



令和元年度は、寄附財源を予算化し、22の事業(基金繰入27,959,000円)を実施しました。鹿児島県徳之島町を応援して下さい。皆様ありがとうございました。